

平成7年度 国保税は

県下80市町村中で **8番目**に
海匝地区では **1番**

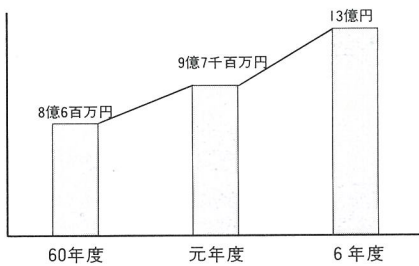
低い位置に
ランクされています



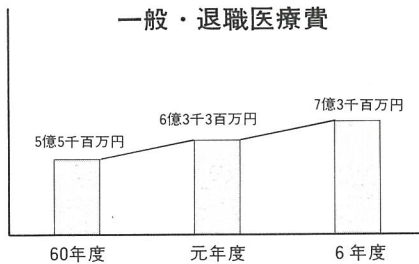
▲国保で助成している歯みがき教室（中央保育園）

医療費の推移

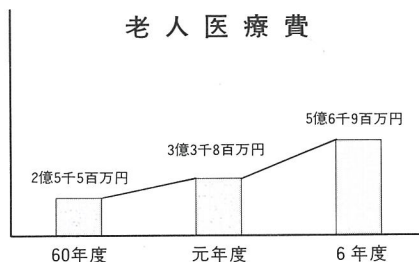
総医療費



一般・退職医療費



老人医療費



平成7年度分の国保税については、医療費の動向や財政状況などから、被保険者全員に減額の効果があるよう税率の改正を行いました。

この結果、当町の一人当たり国保税賦課額は、9月1日現在で60,083円となり、県平均国保税賦課額67,970円を大きく下回り、県下80市町村中で8番目に低い位置にランクされています。

また、海匝地区（3市4町）の平均国保税賦課額は、65,189円で、海匝地区の中では当町が1番低い位置にランクされています。

一方医療費は、対前年同月比で9パーセント台の伸びを示しており、特に老人医療費は10パーセント台の高い伸びを示しています。医療費が伸びれば国保税も上がるというのが基本原理ですので、今後とも国保事業が健全、かつ、円滑に運営できるよう「自分の健康は自分で守り、つくる」をスローガンに健康づくりに励みながら、積極的に各種検（健）診を受診し、疾病の早期発見・早期治療に努めてください。

医療費は大切に、有効に

医療費はなぜ増える？

1 高齢者の増加につれ、医療機関への受診割合も増え、その分の医療費が大きく影響している。



3 成人病などの長期治療が必要な慢性疾患患者が増加した。



2 医学・医療技術の進歩により、1件あたりの医療費が高くなった。



4 重複して医師にかかったり、むやみに薬を欲しがるなど、お医者さんのかかり方も原因に。



短期人間ドックの利用を 検査費用の85%を補助

対象	国保に加入している方（30歳以上70歳未満）
医療機関	東陽病院（1泊2日）
利用者負担金	11,700円（65,000円×15%+消費税）
申込み	保健衛生課国保係 ☎84-1158 内線216